

情報入試フォーラム 2013 の報告

千葉県立柏の葉高等学校教諭
滑川 敬章

1. はじめに

教科「情報」の大学入試への導入について広く議論する「情報入試フォーラム 2013」¹⁾が、昨年度末の3月3日に筑波大学東京キャンパス文京校舎を会場に行われた。フォーラムは情報入試研究会²⁾の主催で、83名の大学生、高校教員、大学教員等の参加があった(主催者発表)。

当日は、昨年秋に公表された情報の試作入試問題についての解説、5月18日(土)に計画されている情報入試の模擬試験計画についての説明、情報入試を行っている大学からの報告などの他、「情報入試のこれから」というテーマのパネルディスカッションもあり、1日を通じて熱い議論が行われた。

今回、パネルディスカッションに参加する機会を得たので、当日の様子を報告する。

2. 情報入試研究会とは

情報入試研究会は、情報活用能力が国際的に重視されているにも関わらず、大学入試で「情報」を選択できるのが20大学ほどである現状を危惧して、2012年1月に設立された。20数大学の先生方が参加されており、早稲田大学の笥捷彦先生と慶應義塾大学の村井純先生が共同代表になっている。「情報」入試の方法や問題の範囲・内容・水準について意見交換し、2013年度から3か年にわたって模擬情報入試を試行して、2016年度から本格的に各大学で導入できるように活動されている。



図1 フォーラム会場の様子

<< 情報入試フォーラム 2013 プログラム >>

- | | |
|-------|--|
| 10:30 | 開会挨拶
笥捷彦(早稲田大学) |
| 10:40 | 模試実施概要説明
植原啓介(慶應義塾大学) |
| 11:20 | 試作問題 #001 解説
久野靖(筑波大学) |
| 12:00 | 昼食 |
| 13:00 | 愛知教育大学 普通教科「情報」入試
10年の総括
竹田尚彦(愛知教育大学) |
| 13:40 | 明治大学情報コミュニケーション学部
2013年度情報入試の報告
山崎浩二(明治大学) |
| 14:20 | 慶應義塾大学 総合政策学部/環境情報学部
2016年度入試について
村井純(慶應義塾大学) |
| 15:00 | 休憩 |
| 15:20 | パネルディスカッション
「情報入試のこれから」
松永賢次(専修大学)、佐久間拓也(文教大学)、滑川敬章(千葉県立柏の葉高等学校)、工藤浩之(電気通信大学・学生)、本原拓也(愛知教育大学・学生)、堀尾篤秀(同)ほか |
| 16:50 | 閉会の挨拶
村井純(慶應義塾大学) |

3. 情報入試の現状

大学入試センター試験に「情報」が出題されるようになることを願っている先生方も多いと思われる。情報処理学会等が「情報」をセンター試験の出題科目に加えることを提言³⁾しているが、平成24年5月の大学入試センターの発表では、平成29年度以降の出題の可能性について引き続き検討するといった段階で、まだまだ先は長そうである。

しかし一方で、既に情報入試を行っている大学もいくつかある。フォーラムでは、入試を行っている大学側の実情を聞くことができた。実施している大学では、入試としての一定の成果がある反面、一番困っているのは、受験者数が多くないことだという。受験する学生数が少ないと、大学全体で考えたときに情報入試を続けていくことが難しいそうである。現状では、ぎりぎりのところだという。

多くの大学で情報入試が行われるようになることは、高校で情報を教えている私たち教員にとっても大きな意味がある。学習指導要領や検定教科書に基づいた良問を示してくれることは、私たちの授業にもよい影響があるだろう。情報入試をよく理解して、議論を深めていくことの必要性を強く感じた。

4. 第1回模擬試験

研究会が試作を重ねてきた模擬問題を使って、情報入試の模擬試験が実施される。実際の受験生となる高校生に情報入試のイメージを理解してもらうことや、大学関係者に問題の難易度や出題範囲などを検討してもらうことが目的である。模擬試験の詳細については、情報入試研究会のウェブサイト^{4, 5)}を参照してほしい。

大学等の会場での受験の他、学校での団体受験も可能である。1週間後を目処に、解答・解説、受験者数や点数分布等の統計情報、点数・順位等を記したサーティフィケートがウェブ経由で返却される。

実施日時：5/18(土)、14:00～15:30(90分)

会場(定員)：

東京(50) 早稲田大学西早稲田キャンパス
 神奈川(150) 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス
 愛知(50) 名古屋ビジネスセンター
 大阪(80) 大阪電気通信大学寝屋川キャンパス
 福岡(30) 九州工業大学 kyutech プラザ

試験範囲

教科「情報」の「情報の科学」「社会と情報」共通問題、「情報の科学」、「社会と情報」の3カテゴリから構成。全て必答。

模擬試験は、この記事が掲載される頃には既に終了していると思うが、来年度以降も実施される予定

とのことである。また、模試の結果等については、高校教科「情報」シンポジウム2013秋(情報処理学会主催)において報告される予定となっている。

専修大学ネットワーク情報学部では、高校生の受験を促すために、AO入試で、「受験証明書(成績付き)」を評価書類として受け付けることにしたそうである。同様な対応をしてくれる大学・学部が、今後いくつか出てくるかもしれない。



図2 フォーラム会場の様子

5. おわりに

パネルディスカッションの中で、「大学が本気で情報の入試問題を作ったとして、それに応えられる授業を高校でもやろうとしてくれるのか。大学と高校は、同じ方向を向いて歩み寄っていけるのか。」という質問があった。このような心配がいらないように、我々が情報活用能力や論理的思考力、問題解決力等を身に付けさせる授業を日々実践していくことの大切さを感じた。今年度から新学習指導要領がスタートするが、本格的な情報入試の導入に向けて、我々がすべきことをしっかりとやっていきたい。

参考 URL

- 1) 情報入試研究会「情報入試フォーラム2013報告」
<http://jnsg.jp/?p=329>
- 2) 情報入試研究会、<http://jnsg.jp/>
- 3) 「大学入試センター試験における『情報』出題の提言」
<http://www.ipsj.or.jp/release/kyoiku20120127.html>
- 4) 情報入試研究会「第1回大学情報入試全国模擬試験ご案内」
<http://jnsg.jp/?p=793>
- 5) 情報入試研究会「資料」、http://jnsg.jp/?page_id=108
- 6) 『キミのミライ発見』活用ガイド「interview 久野靖 / 筑波大学教授」、<http://www.wakuwaku-catch.net/>
- 7) ECSたより2013春(No.62)「高校教科『情報』の意義と入試」
<http://jnsg.jp/wp-content/uploads/2013/03/ECS62p1.pdf>